

## 第37回日本体操競技・器械運動学会大会 プログラム

| 時間            | 内容および会場   |
|---------------|---|
| 9:00 -        | 受付開始（会場入り口）   |
| 9:30 - 9:40   | 開会式   |
| 9:45 - 11:05  | シンポジウムⅠ 201教室 ◎：コーディネーター  |
| (80分)         | 「審判員の観点からの体操競技」～ベルギーアントワープ世界体操2023報告・2024パリオリンピックに向けて～<br>◎水島 宏一（日本大学・JSG常務理事）<br>佐々木 彰文（公益財団法人日本体操協会 男子審判本部長）<br>大森 智子（公益財団法人日本体操協会 女子審判本部長） |
| 11:05 - 11:15 | 休憩  |
| 11:15 - 12:15 | シンポジウムⅡ 201教室 ◎：コーディネーター  |
| (60分)         | 「体操経験が社会では武器になる」～体操引退後のキャリア形成について～<br>◎仲宗根 森敦（東京学芸大学・JSG常務理事）<br>南 友介（ネイス株式会社）  |
| 12:15 - 13:25 | 連絡事項～昼休み  |
| 13:25 - 14:58 | 一般研究口頭発表 201教室 座長：金谷麻理子   |
| 13:27 - 13:39 | 1 器械運動領域で取り扱われる技や動きの素朴概念－側方倒立回転についての認識の実態－<br>高橋徹（岡山大学）   |
| 13:40 - 13:52 | 2 先天性上肢形成不全児における逆上がり運動プログラムの作成<br>立松佳通（東京大学医学部付属病院）   |
| 13:53 - 14:05 | 3 体操競技者による独り言行動の分析<br>久永将太（慶應義塾大学）  |
| 14:06 - 14:18 | 4 体操競技の現状と新たな視点の模索<br>遠藤幸一（日本大学商学部）   |
| 14:19 - 14:31 | 5 第1回国際マスターズチームカップ報告（仮）<br>市場俊之（中央大学）   |
| 14:32 - 14:34 | 6 動きの理解の相違による他者の動きに対する助言内容の検討<br>鈴木 健一（板橋区立高島第三小学校・東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所・埼玉学園大学）  |
| 14:35 - 14:57 | 7 体操競技における審判席の配置および高さの相違が評価に与える影響<br>古賀裕将（日本大学大学院）  |
| 14:57 - 15:10 | 休憩  |
| 15:10 - 15:55 | 一般研究ポスター発表 201教室 座長：柳 浩二郎   |
| (45分)         | 1 肩甲帯の動きを意識した反復練習が倒立時の主観変化に与える影響<br>熊谷慎太郎（岐阜聖徳学園大学）   |
|               | 2 冷凍弁当を利用した食生活改善プロジェクトの成果について～大学体操競技選手を対象として～<br>植村隆志（東海大学体育学部競技スポーツ学科）   |
|               | 3 マット運動における自己評価の相違による他者評価の特徴<br>宮崎彰吾（静岡産業大学）  |
|               | 4 体操競技における試合期のコンディショニングを主観的疲労度から捉える<br>奥山遥矢（東海大学体育学部競技スポーツ学科）   |
|               | 5 平均台種目別決勝における演技構成の変遷-1964年大会から1984年大会を対象に-<br>仲宗根森敦（東京学芸大学・筑波大学大学院）  |
|               | 6 体操競技、器械運動領域におけるAIを活用した運動評価のための基礎研究－跳び箱運動における開脚跳び、閉脚跳びを対象に－<br>有働晃太（東京学芸大学大学院）   |
|               | 7 女子体操競技選手におけるコンディショニング管理に関する実態について<br>西葉月（東海大学）  |
| 15:55 - 16:15 | 表彰・閉会式  |
| 16:20 - 16:50 | 学会総会  |
| 16:50 - 17:30 | フリーディスカッション   |